



羽生の子どもたちは「褒め上手」

学校が再開されて1か月、子どもたちはコロナ対策をしながら送る学校生活にも慣れ、毎日元気に過ごしています。しかし、この1か月の間に、人が嫌がることをして喧嘩に発展したり、大声で関係ないことをしゃべって授業の妨げになる場面があったりと、大小いろいろなトラブルがあったのも確かです。そこで、次の全校朝礼の話は、「自分がされて嫌なことは、人にはしない。」という心のルールを決め、「守れない人は校長室に呼びます！」っと強く釘を刺すつもりで準備をしていました。

しかし、全校朝礼の前日、その日開かれた「第1回スピーチ大会」の子どもたちの様子に、私の考えは大きく変えられてしまいました。

スピーチ大会では、2年生・4年生・6年生から1人ずつ計3人の子どもたちが、自分の決めたテーマでスピーチをしました。どの子も発表する姿は堂々としていて立派でした。また、話す内容もすばらしく、しっかり準備をしてきたことがうかがえました。そして、私が特に驚かされたのは、聴く側の子どもたちが、発表者のスピーチのよかったところをみつけて上手に褒める様子です。それは、私の想像をはるかに超えるものでした。発表者の態度のすばらしさや話し方のわかりやすさなど、よかったところを指摘しながら褒める様子に、ちょっと感動さえ覚えました。

このことから、朝礼当日は、「6月にはトラブルがたくさんあったこと」、「その原因は、相手が嫌がることをしたり、授業中に勝手な言動を取ったりしたことがほとんどであること」、「今後、自分がされて嫌なことは、人にはしないこと」を話したうえで、「スピーチ大会の発表者がすばらしかったこと」、「聴いていた人は、発表者のよかったところをしっかりと褒めてあげる様子がすばらしかったこと」を褒め、このように、人のことを上手に褒めてあげられる羽生の子なんだから、校長先生が呼んで叱らなくても、自分がどうすればいいか考えられるはずだと話しました。

今年は夏休みまであと1か月あります。この期間に子どもたち（特に学校を引っ張っていく立場である高学年）には、もう一段成長してほしいと思っています。ご家庭でも、この機会に話題にいただけると幸いです。

たくさんの方においでいただきました

7月3日（金）午前中は授業を公開し、たくさんのお家の方に来ていただきました。子どもたちはどことなく緊張した面持ちでしたが、がんばる姿を見てもらえるのを喜んでいました。参観には、お父さん・お母さんだけでなく、おじちゃん・おばあちゃん、ひいおじいちゃん・ひいおばあちゃんにも来ていただき、学校教育への関心の高さを感じました。

今後も、教職員一同、子どもたちの健やかな成長のために努力してまいります。ご家族の皆様には、学校に対するご意見・ご要望をお聞かせいただければと思います。よろしくお願いします。



6/22（月）大宮探検

幼稚園、1・2年生が生活科で町探検に出かけました。ふれあい動物園では、ウサギや烏骨鶏、馬など、たくさんの動物と触れ合い、楽しい時間を過ごしました。餌をやったり、馬に乗せてもらったりと、お気に入りの動物の絵を描きました。



6/25（木）交通安全教室

福井警察署や美山地区内派出所から指導者においでいただき、幼稚園と1年生は歩行訓練、2～6年生は自転車走行訓練を行いました。幼稚園と1年生は、大きなトラックが頻繁に通る中、国道を渡ったり、踏切を渡ったりしました。2～6年生は、グラウンドと学校周辺道路で自転車に乗りました。そして、シートベルト着用効果体験もしました。

訓練を通して、ルールをしっかり守り安全確認して、歩いたり自転車に乗ったりすることが大切であることを学びました。また、シートベルトがいかに効果的であるかも学びました。



6/26（金）避難訓練・引き渡し訓練

地震発生とその後の火災発生を想定して避難訓練を行いました。子どもたちは、先生の指示の下、姿勢を低くしながら約3分で体育館に避難することができました。

訓練の最後には、72年前に発生した「福井地震」について話し、その被害の大きさを知らせるとともに、緊急事態のときは、放送や先生の指示をよく聴き、自分がどうしなければならないか考えることが大切だと伝えました。

また放課後は引き渡し訓練を行い、お家の方に子どもたちを引き取りに来ていただきました。20分程度で全員を引き渡すことができました。ご協力ありがとうございました。

